なすしおばら ボランティアセンター情報誌

令和4年11月20日号

ボランティア交流会 大正琴「わすれな草」のオンライン演奏で交流



ボランティアセンターに登録している個人と団体を対象に「ボランティア交流会」を10月31日(月)に開催しました。内容は、オンライン演奏会の見学と情報交換&おしゃべり会でした。

まずは、ボランティアセンター本所と栃の実荘をオンライン(Zoom)でつなぎ、大正琴「わすれな草」の5人が演奏を届けました。コロナ禍でもできる活動の一つとしてその様子を参加者に見学していただき、一緒に大正琴の演奏を楽しんでいただきました。

その後、約1時間の情報交換を兼ねたおしゃべり会では、ひとり一人が自己紹介や活動紹介を行いました。傾聴ボランティアや二胡、三味線を演奏する人、踊りを披露する人、個人で活動する人など他の活動を知っていただく機会になりました。また、「一緒に活動をしてみませんか」と声をかける人もおり、参加者同士のつながりも広がった交流会となりました。





塩原のかたりべ~民話を披露~

9月26日(月)、いきいきふれあいセンターで行われた、「シルバー大学校黒磯同窓会」の支部会に、「塩原のかたりべ」がゲスト出演し、黒磯や塩原の民話を披露しました。この日は、若くして命を落とした塩原出身の美しい花魁の話「塩原高尾太夫」に始まり、キツネと人間の化かし合いを描いた「富士山のこん太キツネ」の全9話でした。切ない話や思わずクスッと笑ってしまう話など様々な民話を披露し、声色や口調が違って、全てが新鮮で、身を乗り出して聴き入っていました。更には、馴染み深い「栃木弁」が舞台を温かくし、観客を魅了しました。また、民話の途中では代表の佐藤氏が得意とする性格診断をしました。観客は診断結果に大笑いし、和やかな時間はあっという間に過ぎました。

「塩原のかたりべ」は、今年で18周年を迎えました。毎週月曜日午前11時から「関谷もみじの郷」で「民話語り」を披露していますので、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲本も出版されています! 本日のお話の他、民話が盛り だくさんです!

栃木の助け合いは

CtoldG 民語





10月1日(土)、フードバンク県北(とちぎボランティアネットワーク)主催の「第10回チャリティウォーク県北20」が開催され、スタート地点の大田原市生涯学習センターには、ウォーク参加者140名、ボランティアスタッフ60名、計200名が集結しました。今回は、「那須野が原開拓歴史のコース」で、赤田山や三島神社、烏ヶ森などを巡る20キロの道のりを完歩目指して歩きました。コース途中の休憩所では、ボランティアが飲み物などを、お昼休憩の三島神社では、豚汁やバナナなどを用意し、参加者を応援しました。

「当日は、ボランティアスタッフをはじめ参加できなかった方々や協賛いただいた企業団体関係者の皆さまのおかげで今回のチャリティイベントを無事に終えることができた。ただ歩くのではなく、皆で一緒に社会問題を知り広め寄付を募り、これからの問題を解決するための仲間を増やしていきたい」と安井実行委員長は話しました。





三味線津軽会 日本舞踊舞の会 ~生きがいサロンでコラボレーション活動~

10月14日(金)、「三味線津軽会」と「日本舞踊舞の会」の藤間 苑氏が共演し、鍋掛東町の生きがいサロンを賑わせました。三味線は、奏でている姿は静かなのに音は弾むように動いており迫力がある演奏です。そこに日本舞踊の艶やかさや拍子を取りながら快活な動きのある舞が曲と融合し、とても盛り上がりのある舞台になります。

今回は、オープニングの「津軽じょんがら節」から始まり全14曲、合間には藤間氏による踊りを「花笠音頭」を始めとして5曲披露しました。曲目紹介で「津軽民謡の中の『弥三郎節』は嫁と姑の葛藤の曲です」と説明が入ると、会場からは笑いが起こっていました。

みなさん、聴いたことのある曲に手拍子をしたり、リズムにのって体を動かしたりと、楽しんでいました。

最後には、藤間氏を先頭に「長生き音頭」を会場の全員で行いました。「100歳まで長生きしま しょう」という歌詞に合わせて力強く体を伸ばし、体も心も温まる会になりました。











▲三味線津軽会のみなさんと 藤間苑氏(中列左側)



バリアフリー映画会

梨木 香歩 原作『西の魔女が死んだ』



【アイサポート那須・のびる会】

10月16日(日)、那須塩原市図書館みるる主催のバリアフリー映画会が、「アイサポート那須*1」「のびる会*2」「住友商事*3」の協力のもと開催されました。バリアフリー映画とは、視覚や聴覚に障がいのある方もない方も一緒に楽しめるように、「音声ガイド」や「日本語字幕」を付けて上映しています。健常者はアイマスクを付けて視聴体験することもできます。目を閉じて鑑賞しましたが、音声ガイドがあるため、耳からの情報だけで想像したり、情景を思い浮かべたりすることができました。

今回は、「西の魔女が死んだ」という物語でした。新しいクラスに馴染めず不登校になってしまう主人公の「まい」が、田舎に住む「魔女の末裔」のイギリス人のおばあちゃんのところで「魔女修行」をするというストーリーです。音声ガイドは画像の様子、動きをすべて伝えます。例えば「まい」が手に持ったティーカップの柄についても細かく表現します。「『まい』は黄色で四つ葉がイラストしてある、丸みのあるカップを持つ」や「おばあちゃんは『まい』の頬を両手で優しく包み込む」というように。

多くの視覚障がいの方が来場しており上映後には「良かったね」という声が聞こえてきました。 バリアフリー映画のおかげで、目で見ても心の目で見ても感動は同じかもしれないと思うものでした。

※1 視覚障がい者へ、市広報や社協だより、議会だよりなどを音訳し、CD に録音して届ける活動をしているボランティア団体です。

※2 視覚障がい者の読み書き支援他サポート、マルチメディアデイジー(わいわい文庫)の普及活動をしているボランティア団体です。

※3 バリアフリー映画の普及活動を通して、誰もが暮らしやすい社会について考える機会を提供している企業です。



▲「アイサポート那須」



▲「のびる会」



発足35年目を迎えた「とんぼの会」

∼初期メンバーを迎えて交流~

市内を拠点に活動している「那須塩原市高校生ボランティアグループとんぼの会」が、今年で発足35年目を迎えました。そこで、11月6日(日)、初期メンバーである栃木県北地区手話通訳派遣協会理事長の大場孝泰さんをお招きし、発足当時の話や活動していた内容、現在の仕事にまつわる話しなどを約1時間半に渡りしていただきました。

とんぼの会に入ってよかった点として、大場さんは、「大人 (同世代だけではない人たち)とつながりを持つことができ た」と話し「いろんな人と接して、経験することは力になり、 損はないので、感じている疑問ややりたいことを大切にして、 チャンスは逃さないでほしい」と伝えました。

とんぼの会のメンバーたちは、大場さんの話を熱心に聞き、 今回の交流の中で多くのことを学ぶことができました。





研修会情報

令和4年度 「パソコンボランティア養成研修会」

- 日 時 【1日目】令和5年1月14日(土)10:00~16:00 【2日目】令和5年1月28日(土)10:00~15:00
- 会 場 とちぎ男女共同参画センター(パルティ)研修室304(両日とも) 〒320-0071 宇都宮市野沢町4-1
- 対 象 ◆県内に在住・在勤・在学し、18歳以上で福祉に理解があり、パソコン・スマホ等の操作が できる方
 - ◆研修終了後、パソコンボランティアとして視覚障害のある方、聴覚障害のある方の ICT 機器 利活用のサポート活動ができる方

定員・参加料 10名・無料

参加申込み・お問合せ

電話、FAX、メールにより令和4年12月14日(水)までにお申し込みください。 お電話・FAXの場合は、「ご氏名」、「ご連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)」、 (「ご住所」)をお知らせください。

メールの場合は、件名「パソコンボランティア養成研修会 申し込み」とし、本文にて「ご氏名」、「ご連絡先(電話番号、FAX番号、メールアドレス)」、(「ご住所」)をお知らせください。

TEL: 028-612-5213 FAX:028-627-6880 メール: ict@tochigikenshakyo.jp 主 催 とちぎ視聴覚障害者情報センター(栃木県障害者 ICT サポートセンター)

ひまわりの窓 ~お話聴きます~

あなたの気持ちに寄り添ってお話し相手をいたします。誰かに話を聴いてもらいたい方、お話し相手がほしい方など、傾聴経験豊富なボランティアが対応いたします。詳しくは、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

【日時】相談の上、決定します

(原則、月に1回50分まで)

【場所】ボランティアセンター

【お話を聴く人】傾聴ボランティア グループひまわり

おもちゃクリニック ~毎月第2水曜開院~

使っていた大切なおもちゃ、壊れてそのままになっていませんか。これからも大切に使えるように修理いたします。例外を除き無料のクリニック(ボランティア)です。詳しくは、ボランティアセンターまでお問い合わせください。

【日時】原則、毎月第2水曜日

10時~12時

【場所】ボランティアセンター

【おもちゃを直す人】 おもちゃクリニック Dr.はせがわ

ボランティア 相談コーナー

- Q イベントを開催します。ボランティアを集めたい のですが、紹介してもらえるのでしょうか。
- A イベントの開催日程やボランティア活動内容等を 詳しく聞かせていただきます。その後、登録して いるボランティア等に募集情報を提供し、活動希 望者を紹介させていただきます。内容によって情 報誌等で広く周知することも可能です。まずは、 ボランティアセンターへご相談ください。

収集物報告

皆さまからお預かりしました収集物を 以下のとおりお届けいたしましたのでご 報告いたします。

≪空き缶のプルタブ≫

【令和4年3月~10月分】 6.6 kg

※市内の障害者福祉施設にお届けし、 施設の活動に役立てられています。

ご協力ありがとうございました

男女共同参画フォーラム2022

女と男ともに輝くまちづ



演題

『女性初』の時代を生きて〜

視力を失った二人が 自分らしく生きる、感動の短編映画



講師:越村 佳代子

12月4日(日)【開場】12:15【開演】13:00~16:00

会場:大正堂くろいそみるひぃホール 大ホール

(那須塩原市黒磯文化会館)

●男女共同参画推進事業者表彰式 ●映画「二つの光」 ●講演(講師:越村佳代子) ●お楽しみ抽選会

Ĭ開演前イベント:高齢者疑似体験・車いす体験(サポートみらい)

整理券配布場所

■本庁市民協働推進課(3階6番窓口)

■塩原支所総務福祉課

■箒根出張所

(整理券が必要です

■西那須野支所総務税務課(1階1番窓口) ■大正堂くろいそみるひぃホール ■三島公民館

主催 那須塩原市男女共同参画フォーラム実行委員会、那須塩原市 後援 輝きネットなすしおばら 問い合わせ 那須塩原市 市民協働推進課 ダイバーシティ推進係 TEL.0287-62-7019

【開演前イベント】12:15~13:00 「サポートみらい」による高齢者疑似体験、 車いす体験を開催します!

この機会に体験してみませんか?

※サポートみらいは、市内の小・中 学校や地域などで高齢者疑似体験 と車いす体験の講師として活動し ているボランティア団体です。





眼の不自由な方の生活用具展示説明会

日時:2022年12月11日(日)13:00~15:30

場所:那須塩原市図書館みるる(那須塩原市本町 1-1) 予約 小男

日常生活用具の展示と説明

手に取って試してみましょう。

使い方や購入方法、価格も説明します。

障がい者に優しいものは健常者にも使いやすいのです。

- ・時計(触読式、音声式) ・プッシュ式調味料入れ、計量カップ ・音声式体温計、血圧計
- ・財布、小銭入れ、紙幣が見分けられるガイド ・安全つめきり、つめやすり ・簡単糸通し
- ・音声電卓 ・ボイスタイマー ・音声体重計 ・他いろいろ

スマホの便利な使い方

達人がいろいろな質問にお答えします。

目が不自由でもスマホが便利に使えます。

書類を写して音声で読み上げる実演と使い方を説明します。

眼の不自由な方の読書機器

眼の不自由な方も読書が大好きです。 ディジー用機器の展示と使い方の説明をします。 点字図書も展示します。触ってみましょう。

~障がいのない方も是非ご覧になってください~

一般知識としてだけでなくお年を召した方にもお役に立つと思います。

カタログ(墨字)も用意しております。

主催/問い合わせ:アイサポート那須&のびる会 (松木)の090-1855-1877

(いずれも眼の不自由な方のために活動している市内のボランティアグループです)

協力:那須塩原市図書館みるる・日本点字図書館

第2回県北クリスマスウォーク 🤎

4:9de7: 2022

連動企画

街頭募金

同日開催

• TOBU 大田原

県北クリスマスウォークとは…「子どもの貧困をなくそ う!」をテーマに、社会的・経済的に困っている世帯やその 子どもたちを支えて応援したいという想いを広く伝えるため のチャリティイベントです。参加寄付は、サンタ de ランを 通じてフードバンク県北と子どもの居場所スマイルハウスの 活動資金になります。

日 程:12月24日(土) 9:00~13:00

集合場所:成田山 遍照院(栃木県大田原市本町1-5-1) コース:成田山 遍照院 → TOBU 大田原 → 王冠ボウル

→ トコトコ大田原 → ゴール (成田山 遍照院) 約5km

参加寄付: おとな1,000円以上

中学生以下は無料(保護者同伴)

申込締切:12月19日(月)下記連絡先まで

*目標60人! *街頭募金ボランティアも募集

‡寄付だけでも OK

問い合わせ・申し込み: TELO287-48-6000 FAXO287-48-6700(担当: 安井)

ホームページ https://tochicomi.org/santa/

主催:とちぎボランティアネットワーク県北支部 フードバンク県北・スマイルハウスボランティア会 HPからも 申込できます➡







地域の 🎁 スポット

この程、「いちご一会とちぎ国体」に向け川島勝美さん(稲村地区)より情報提供がありました。

植木を手入し、その時期の旬のキャラクターを作成しています。以前は、社協のシンボルマーク「こころまる」だったこともあります。今後この「とちまるくん」は、赤い帽子をかぶり「クリスマスバージョンとちまるくん」になるそうです。お近くにお越しの際は、是非「とちまるくん」を探してみてくださいね。



▲令和4年9月27日(火)撮影

【ボランティアセンター本所】



住 所:那須塩原市南郷屋5-163

健康長寿センター内

電 話:0287-47-6700 FAX:0287-47-6690 Eメール:v.center@ns-shakyou.jp 【ボランティアセンター黒磯】



住 所:那須塩原市桜町1-5

いきいきふれあいセンター内

電 話:0287-73-0073 FAX:0287-73-0073 Eメール:k,vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

9月	イベント他	8件	22人	1 0月	イベント他	6件	29人
	傾聴	3件	3人		傾聴	4件	4人
	福祉体験	1件	2人		福祉体験	2件	7人
	合計	12件	27人		合計	12件	40人

ボランティアセンター登録数(10月31日現在)

団体	個人		
104団体(非公開含む)	100人		







発行:社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

ボランティアセンター本所 TEL 0287-47-6700 FAX 0287-47-6690

〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163 (健康長寿センター内)

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

ホームページアドレス http://ns-shakyou.jp/

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

